

鍼灸科

診察学応用 2

| | | | | | | | | | | | |
|------|------|-----|----|----------|---|----|-----|-----|----|----|---|
| 対象 | 2年次 | 開講期 | 後期 | 区分 | 必 | 種別 | 講義 | 時間数 | 30 | 単位 | 2 |
| 担当教員 | 小堀孝浩 | | | 実務 経験 | 有 | 職種 | 鍼灸師 | | | | |

授業概要

東洋医学的診断法と西洋医学的診断法を学び、適切な施術を施すための判断力を養います。

到達目標

現代医学的な診察法の基本を復習し、鍼灸施術に必要な診察の基礎を学び理解する。提示された症例をもとに模擬授業を行い、基本的な診察のしかたや評価法を理解しながら反復練習し体得することを目標とする。

授業方法

現代医学的な診察法の基本を復習し、診察のしかたや評価法を実習を通じて身につける。また、具体的な症例を提示し、ペアまたはグループで話し合いながら取り組むことで、総合的な診察力・対応力を身につける。

成績評価方法

期末試験で100%評価する

履修上の注意

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。※予習をすることによって、授業中にすぐ身体が動くように準備しておくこと、復習することによって自分なりに振り返りや課題を見つけることが重要である。

教科書教材

担当教員が資料を作成し、毎回配布する。診察・検査法を行うための器具が必要。

| 回数 | 授業計画 |
|-----|--------------------|
| 第1回 | 鍼灸臨床に必要な診察・検査・測定法① |
| 第2回 | 鍼灸臨床に必要な診察・検査・測定法② |
| 第3回 | 鍼灸臨床に必要な診察・検査・測定法③ |

鍼灸科

診察学応用 2

| | |
|------|--------------------|
| 第4回 | 鍼灸臨床に必要な診察・検査・測定法④ |
| 第5回 | 鍼灸臨床に必要な診察・検査・測定法⑤ |
| 第6回 | 鍼灸臨床に必要な診察・検査・測定法⑥ |
| 第7回 | 鍼灸臨床に必要な診察・検査・測定法⑦ |
| 第8回 | 鍼灸臨床に必要な診察・検査・測定法⑧ |
| 第9回 | 鍼灸臨床に必要な診察・検査・測定法⑨ |
| 第10回 | 総合診察ディスカッション① |
| 第11回 | 総合診察ディスカッション② |
| 第12回 | 総合診察ディスカッション③ |
| 第13回 | 総合診察ディスカッション④ |
| 第14回 | 総合診察ディスカッション⑤ |
| 第15回 | まとめ |